

みずほCustomer Desk Report 2020/08/19号(As of 2020/08/18)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	105.78
TKY 9:00AM	106.00	1.1878	125.82	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	106.10	1.1966	126.08	1.3106	0.7215
SYD-NY Low	105.28	1.1869	125.39	1.3276	0.7264
NY 5:00 PM	105.40	1.1929	125.76	1.3102	0.7210
				1.3237	0.7244
NY DOW	27,778.07	▲ 66.84	日本2年債	-0.130	▲1.00bp
NASDAQ	11,210.84	81.12	日本10年債	0.030	▲1.00bp
S&P	3,389.78	7.79	米国2年債	0.144	▲0.80bp
日経平均	23,051.08	▲ 45.67	米国5年債	0.278	▲1.28bp
TOPIX	1,610.85	1.03	米国10年債	0.670	▲2.11bp
シコ日経先物	23,075.00	▲ 90.00	独10年債	-0.4575	▲0.35bp
ロンドンFT	6,076.62	▲ 50.82	英10年債	0.2155	0.00bp
DAX	12,881.76	▲ 38.90	豪10年債	0.8810	▲4.00bp
ハンセン指数	25,367.38	20.04	USDJPY 1M Vol	6.93	0.35%
上海総合	3,451.09	12.29	USDJPY 3M Vol	8.23	0.23%
NY金	2,013.10	14.40	USDJPY 6M Vol	7.78	0.21%
WTI	42.89	0.00	USDJPY 1M 25RR	-1.14	Yen Call Over
CRB指数	151.69	0.82	EURJPY 3M Vol	8.33	0.15%
ドルインデックス	92.27	▲ 0.58	EURJPY 6M Vol	8.30	0.15%

アジア	東京時間のドル円は106.00レベルでオープン後、米中対立激化への警戒感や前日の米経済指標の悪化を嫌気したドル売りの流れを継続し105円半ばまで下落する展開となった。もっとも売り一巡後は底堅く推移し、105.52レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、105.52レベルでオープン。特段の新規材料はなかったが狭いレンジで推移しながら若干水準を切り下げ105.46レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3148レベルでオープン。本日もドル売りが続く中でポンドは続伸。1.3177レベルでNYに渡った。なお、本日から英—EUの貿易対話が再開されるが関連のヘッドラインはなかった。
ニューヨーク	米商務省が中国通信機器大手に対して半導体輸出規制を強化すると発表し、米中対立激化への懸念が高まる中、海外市場のドル円は全般的なドル安の流れを受けて、一時105.40まで下落。早朝に小幅値を戻し、105.46レベルでNYオープン。朝方はユーロに対するドル売りが波及し、ドル円はじりじりと下落。8時半には米7月住宅着工件数が発表され、市場の事前予想を上回るも、ドル買いには繋がらず、安値105.28をつける。その後、米金利の持ち直しや、S&Pが過去最高値を更新する動きにサポートされ、この水準で下げ止まる。しかし、米中関係悪化に加え、米国の追加経済政策を巡る与野党協議の停滞が嫌気される中、戻りも鈍く、105.40近辺での膠着状態が続く。午後にはペロン米下院議長が追加経済対策を巡り、共和党との合意のため歩み寄る用意があると述べるも、市場の反応は限定的だった。終盤も方向感のなく推移し、そのまま105.40レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルはドル全面安となる中、一時1.1915まで上昇する。その後、小幅反落し、1.1907レベルでNYオープン。朝方は上値を試す展開となり、年初来高値の1.1916を上抜けると、ストップロス巻き込みながら上昇し、1.1945をつける。その後、ポンドドルの上昇につれ高となり、2018年5月14日以来の水準となる1.1966まで高値更新。その後、利益確定の売りに1.1918で下押し。午後は売りが一巡し、1.1930近辺で底堅く推移。新規の手がかり材料が乏しい中、終盤も小動きが続き、結局、1.1929レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 上野・木村 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

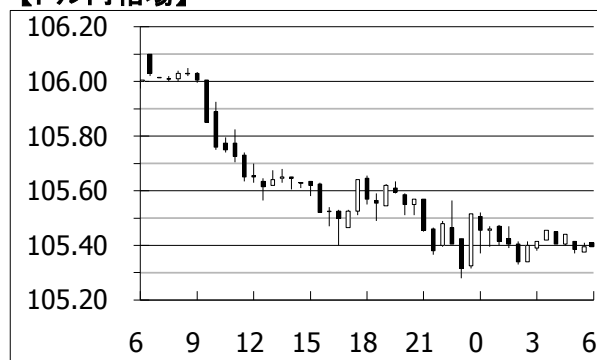
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月18日	21:30	米 住宅着工件数/建設許可件数	7月 1496k/1495k	1245k/1326k
	21:30	米 住宅着工件数/住宅建設許可(前月比)	7月 22.6%/18.8%	5%/5.4%

【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月19日	08:50	日 貿易収支	7月 -¥86.5b	-¥269.3b
	15:00	英 CPI(前月比/前年比)	7月 -0.1%/0.6%	0.1%/0.6%
	18:00	欧 CPI(前月比/前年比)・確報	7月 0.4%/-0.3%	0.3%/-0.3%

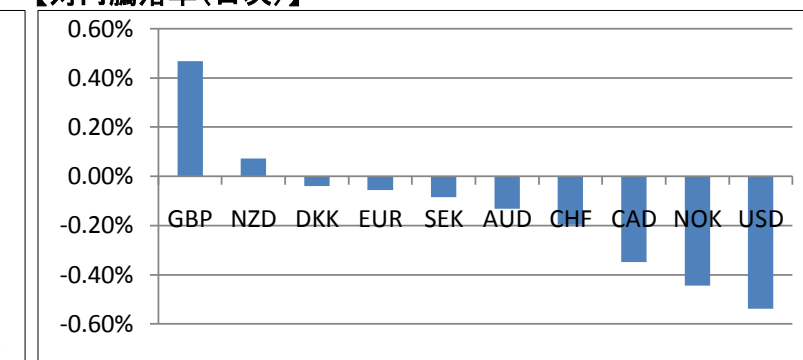
【ドル円相場】



【ドル/円相場について】

米商務省が中国通信機器大手に対して半導体輸出規制を強化すると発表。米中対立激化への懸念が高まる中、全般的なドル売り地合いとなり、ドル円も105円台半ばまでじり安の推移。海外時間に105.28をつけ、その後は105円台半ばでの方向感の乏しい推移。
米中対立激化・新型コロナをめぐる経済回復の鈍化などを材料にドルインデックスは2年3ヵ月ぶりの水準まで下落するなどドルは軟調な推移が続いている。状況の改善につながるようなヘッドラインが出てくる蓋然性は乏しく、ドルが軟調な地合いは継続するものと考えている。ドル円についても基本的には上値の重い推移になるのでは。

【対円騰落率(日次)】



■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐		
ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア	ブル	ベア
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	松本	大谷	大庭	逸見	木村		ブル	ベア
ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア		6	15